

法人会ニュース

そうそう

第19号

発行所
(社)相双法人会
相馬市中村字桜ヶ丘71

発行人
酒井利治

編集
広報委員会

発行日

平成14年7月20日

支部自慢コーナー ⑯原町



毎号の表紙は、各支部
の自慢の風景・祭り等を
掲載しご紹介します。

あやめ祭り

毎年30万本のあやめが咲き誇る「ハートランドはらまち」では期間中(6月中旬～7月中旬)に各種のイベントが繰り広げられ、毎年多くの人々で賑わいます。

第27回通常総会開催



第27回通常総会が去る5月23日(木)原町市のラフィーヌに於て会員127名出席のもと開催された。松本副会長の開会に引き続き、酒井会長の挨拶、ご来賓の紹介、永年役員表彰者7名、会員増強功労者9名、優良経理担当者表彰者17名に表彰状と記念品が会長より手渡された。

続いて、ご臨席のご来賓を代表

され相馬税務署菊地署長からご祝辞を賜り、議事の審議へ入った。酒井会長議長のもと議事が進行され、平成13年度事業経過報告並びに収支決算と平成14年度事業計画(案)収支予算(案)承認の件は、いずれも原案どおり可決承認された。

また、役員補充選任承認の件は、5名の理事より諸般の事情による辞任の申し出があり、それに伴う

もので、新しい役員が選任された。円滑な議事進行のもと、すべての提出議案が原案どおりに可決承認され、総会が無事終了した。

総会終了後には受賞者も含み、出席者全員による懇親会が行われ時間の許す限り、親睦と交流を深めた。

＜新役員紹介＞

| 役職名 | 支部名 | 新 任 | 会 社 名 |
|------|-----|-------|--------------|
| 副会長 | 原 町 | 寺島 岩男 | (有)寺島兄弟タイル工業 |
| 常任理事 | 大 熊 | 吉岡 順 | 双葉運輸(株) |
| 常任理事 | 浪 江 | 原田 雄一 | (株)原田時計店 |
| 理 事 | 原 町 | 竹内 雄一 | (株)原町サイン |
| ク | 浪 江 | 佐藤 浩平 | (有)佐藤秀親商店 |
| ク | 浪 江 | 神長倉豊隆 | (有)美花 |

平成14年度
主役彰功者

1. 役員表彰

本 部 酒井利治 桜井文博
荒井宏美 立谷幸雄

高橋隆助 鈴木清重

鹿島支部 佐藤則夫
原町支部 庄司公正 遠藤 修
寺島岩男 久保田功
高橋隆助 松永雄一

小高支部 鈴木喜八
浪江支部 松原 靖

3. 優良経理担当者表彰
富岡支部 坂本行生郎
新地支部 石田 初代 (名)ハイカラ屋商店
佐々木礼子 オルシス(有)

相馬支部

窪田美佐子 (株)武澤工務店

鹿島支部

小嶋 峰子 かしま電設(株)

原町支部

岡 半谷 文人 (株)中野屋

飯館支部

高橋めぐみ あぶくま信用金庫

門馬美重子

大杉商事(有) 大門金属工業(株)

小高支部

高橋 順子 濱田建設工業(株)



全法連功労者表彰を受賞の
佐川さん

7. 大型保障制度30周年記念
キヤンペーン功労支部表彰
8 支部該当

6. 5.4. ●
功労者表彰 佐川 熱
会員増強功労者表彰 庄司 公正
寺島 岩男 立谷 文博
福島県法人会連合会表彰 桜井 遼
単位会役員表彰 高橋 隆助
酒井 宏美
荒井 利治
高橋 宏美
利治
修

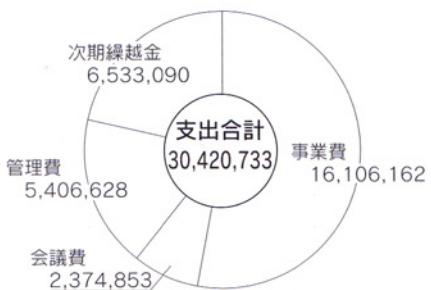
遠藤 新子
芦口シゲ子
秋元美代子
功労者表彰 (株)芦口石材店
会員増強功労者表彰 (有)河原組
福島県法人会連合会表彰 (有)里見電気
単位会役員表彰 酒井 喬雄
酒井 喬雄
高橋 隆助
高橋 宏美
利治
修

浪江支部 高田 教子
五十嵐悠子
安藤 美和
吉田 美佳
双葉支部 森 シゲ子
富岡支部 (資)村上建設
(株)まつもと住建
(有)松本石材建設
(有)ホテル行人荘

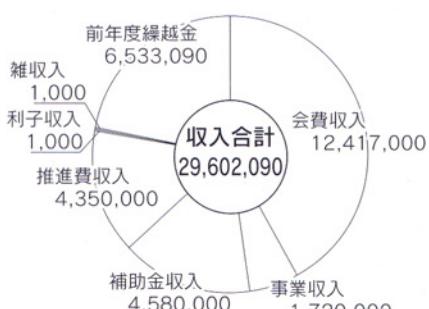
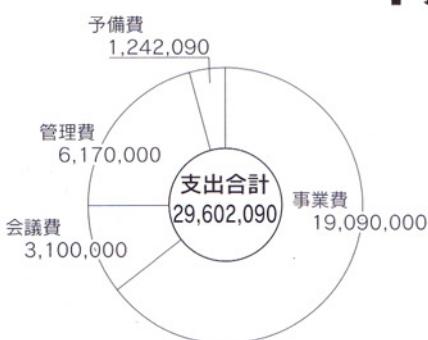


県連単位会役員表彰受賞の酒井さん・桜井さん・荒井さん・高橋さん

平成13年度決算



平成14年度予算



税務署だより



相馬税務署長
阿部 義信

七月一〇日付の人事異動で相馬税務署長を拝命いたしました阿部でござります。前任者同様よろしくお願ひ申し上げます。

相馬税務署での勤務は初めてですが、出身が石巻であり、挨拶廻りで管内を一周した際に肌に受けた潮風に郷愁を感じたところです。

管内の情勢につきましては勉強中であります、相双地区は厳しい経済状況の中であっても、常磐自動車道が広野まで開通し、その先についても現在工事が行われている状況を見るにつけ、今後の発展が大いに期待されている地域であると感じているところです。

このようなかつて法人会の皆様方は税のオピニオンリーダーとして積極的に活動していると伺つております、私ども税務行政に携わる者といたしましても、誠に心強く感じております。

ところで、平成一四年度から政策評価(国税庁にあつては「実績の評価」)

が導入され、国の行政の在り方についても大幅な見直しが求められております。国税庁の実績の評価制度におきまして、国税庁の任務の一つとして「納稅者からの問い合わせや相談に対して、迅速かつ的確に対応する」ことが定められており、納稅者の利便性の向上に努めることとしております。国税庁の実績の評価の実施計画につきましては、本年六月末に公表され、財務省のホームページ(<http://www.mof.go.jp>)で公表もされているところですが、行政についての説明責任を果たし、効率的な質が高く、成果重視の行政の実現を目指すなど、国の行政についても民間企業的な発想が強く求められております。

従来から機会あるごとにお話させて

いただいておりますが、税務行政の円滑な運営は、一人私ども税務当局のみでできるものではなく、法人会をはじめとする関係団体の皆様の御理解と御協力があつて実現できるものと考えておるところに加え、民間企業的発想が要求されて参りますと、これまで以上に皆様方との絆を深くしていく必要があると感じております。

そのような意味からも、なお一層の御支援・御尽力を賜りますよう切にお願い申し上げる次第であります。

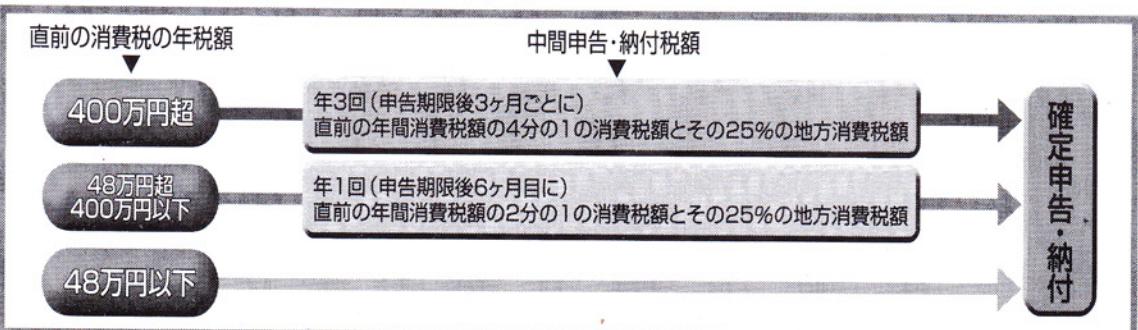
最後になりましたが、相双法人会の益々の御発展と会員の皆様方の御繁栄

を祈念いたしまして挨拶とさせていただきます。

相馬税務署職員異動のお知らせ 平成14年7月10日発令

| 部 門 | お世話をになります | | | お世話をになりました | |
|------|-----------|-------|----------------|------------|------------|
| | 官 職 | 氏 名 | 前 任 署 | 氏 名 | 発 令 事 項 |
| 署 長 | 阿部 義信 | | 国税庁仙台派遣監督評価官室長 | 菊地 岩彦 | 仙台南署長 |
| 管理徵収 | 統括官 | 中村 健治 | 二本松・菅徵統括官 | 千葉 定信 | 仙台北・菅徵三統括官 |
| 法人一 | 統括官 | 岩見 孝雄 | 古川・法人一統括官 | 栗田 啓二 | 大河原・法人一統括官 |

●消費税及び地方消費税の申告・納付について



新地支部

支部だより



第10回通常総会が6月1日、新地町釣師浜の海浜荘にて、会員38名の出席のもと開催されました。荒副支部長が開会のあいさつを行いました。次に、5名の来賓を代表し、相馬税務署栗田啓二法人課税第一部門統括官、新地町商工会後藤顕一会長から祝辞を頂戴し、角田支部長が議長となり議事に入りました。

第10回通常総会が6月1日、新地町釣師浜の海浜荘にて、会員38名の出席のもと開催されました。

議事では、平成13年度の事業報告、収支決算、平成14年度事業計画、収支予算が上程され、全て原案通り承認されました。特に、事業計画では、税制及び税務に関する調査研究や講習会を開催するとともに、会員増強運動を積極的に展開し、会員相互の親睦を図る事業を展開することになりました。

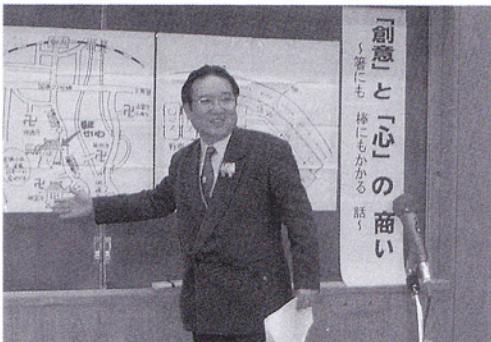
武澤副支部長の閉会のあいさつの後、恒例の懇親会を開催し、出席者は会員相互の更なる親交を深められました。

相馬支部では、去る一月十四日、相馬商工会議所中小企業相談所・相馬商工会議所青年部との共催により相馬商工会議所大ホールにおいて「経営者意識向上セミナー」を開催しました。

相馬支部

「経営者意識向上セミナー」開催

「创意」と「心」の「商い」
（箸にも棒にもかかる話）



開催当日は、箸匠せいわ代表取締役の木越和夫氏を講師に招き、「创意と心の商い」～箸にも棒にもかかる話～と題して講演を頂きました。一人一膳あればよい「箸」を販売し、成熟マーケットのなかで年商数億円を売り上げる販売ノウハウと社員教育。数々の苦難を持ち前明るさとアイデアで乗り切ってきたバイタリティ。四十四名の参加者は明日からの商売・経営に生かすべく熱心に聞き入っていました。

相馬支部では、平成十三年度事業報告、収支決算及び平成十四年度事業計画、収支予算(案)を議題として上程し、承認を得た。また、支部役員の補充選任をした。

鹿島支部

総会では、平成十三年度事業報告、収支決算及び平成十四年度事業計画、収支予算(案)を議題として上程し、承認を得た。また、支部役員の補充選任をした。

平成十四年度の事業計画として、支部視察研修の実施や各種講習会の開催を決定した。

総会終了後は懇親会を開催し、支部会員の親睦を図った。



原町 支部

原町支部通常総会は、五月九日(木)午後五時より、マリアージュパレス出雲において開催し、昨年九月より空席になっていた支部長に、(有)寺島兄弟タイル工業 寺島岩男氏を選任した。

庄司公正支部長代理の挨拶、栗田啓二相馬税務署統括国税調査官の祝辞の後、議事の審議に入った。

平成十三年度事業報告、収支決算を承認し、平成十四年度事業計画、収支予算を決定した。事業計画として、税務・経営等の研修会、講演会の開催や先進地研修会の実施等を決定した。又、昨年度は支部一丸となって会員拡大運動を取り組み、三十一社の入会があつたが、本年度も引き続き会員加入キャンペーを行つて、組織の充実、強化をはかる事で了承を得た。

総会終了後、懇親会を開催し、新支部長のもと支部会員相互の情報交換と親睦を深めた。



飯館 支部

門栗田統括官、草野商工会長より祝辞を戴いたほか、飯館村住民課税務係より菅野主幹、飯館村青色申告会より菅野会長、あぶくま信用金庫飯館支店より池田支店長、大同生命保険(株)原町営業所吉田所長のご臨席を戴いた。

提案された2つの議案が可決され、長谷川長喜理事の閉会の挨拶により総会を閉じた後、親睦と情報交換を目的として盛大に懇親会を開催した。



浪江 支部

浪江・双葉支部 合同講演会開催さる

第二回目の浪江・双葉支部合同講演会が二月五日、浪江町のホテル百足屋で開催されました。

講師には現在、福島民友新聞社報道部長で以前浪江支局長も勤められた皆川猛氏をお迎えし、「ペイオフをひかえ金融戦国時代」と題して現在の日本と世界の政治・社会情勢の分析から始まり、私達にも身近な金融機関を取り巻く問題さらにはこれから日本がどうしたら不況を乗り越えていけるかといったことまで氏の持つ豊富な情報を駆使して私達にもわかりやすくおよそ二時間にわたつてお話をいただきました。

両支部合同の企画ということでお今回も三十名近い会員の皆さんが出席されましたが浪江・双葉は隣町同士でお互いの交流もなり单支部では難しい事業も協力して開催できるのではといった意見が多く出てこの合同の企画をさらに充実させることを確認して散会しました。

小高支部



平成十四年七月三日、「旅館平安荘」において第二十七回小高支部総会を開催いたしました。

当社は、本人出席が十九名と少なかったのは残念でしたが、来賓として小高町長、相馬税務署統括官、商工会長に出席いただき盛会のうちに終了することができました。

また、総会終了後、福島県商工会連合会指導課長熊坂文利氏を講師に招き、「外形標準課税について」の講演会を開催いたしました。講演内容は、外形標準課税を導入しようと/orする背景、法人税の現行の仕組み、総務省案の概要、税額試算例、導入へ

の意義、導入の課題と非常にわかりやすく好評の中終了いたしました。

続いての懇親会は終了したばかり

の講演会テーマである「外形標準課税」の話題、日々の事業、趣味の話と大いに盛り上がり時間の過ぎるのも忘れて楽しい一時を共有することができました。

ただ、総会に出席する会員を増やすという課題は今年も解決することができませんでした。残念。

大熊支部

平成14年度定時総会は、5月28日6時30分町内の「おくまホテル」において、前年より若干2名多い会員14名の出席をみて開催された。

会長鈴木充男氏（共同印刷株式会社代表取締役）は、挨拶のなかで事業の活性化・会員増強など今年度における抱負を述べた。全議案原案通りの承認をみて懇親会に入った。

制限時間いっぱいの歓談の後、午後9時散会した。

なお、提出議案は次の通り。

第1号議案

平成13年度事業報告及び収支決算書並びに余剰金処分（案）承認について

第2号議案 平成14年度事業計画及び収支予算書（案）承認について

富岡支部

互の親睦を懇親を深め、法人会の更なる発展を誓つた。

栗田啓二法人課税統括官、大同生命保険（株）原町営業所長 吉田啓一 氏が祝辞を述べた。

議事では、平成13年度の事業報告、収支決算書を承認し、平成14年度の事業計画では、次の重点事

業を決定した。

1 支部組織の拡大強化及び自

己財源の確保

2 経理・情報処理に関するパ

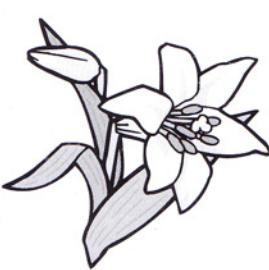
ソコン講習会

3 各講習会・研修会の実施

4 法人会活動の広報事業

同時開催の講演では、「同族会社と税務」と題し栗田統括官より、同族会社の特有の問題点、代表者との金銭貸借 ①代表者から同族会への貸付け ②同族会社から代表者への金銭貸付時などの注意点について講義を受けた。出席者一同興味深い話に暫しの耳を傾けていた。

第27回通常総会が、5月14日に富岡町「ホテルひさご」にて開催された。冒頭藤沢支部長が挨拶をおこな



女性部会

就任ご挨拶



女性部会長 吉岡 順

この度の相双法人会女性部会の第8回通常総会において部会長を仰せつかりました吉岡でございます。未熟者ではございますが宜しくお願い致します。相双法人会女性部会の基本方針は「女性の立場から法人会に参画するとともに、自主申告納税制度の確立や企業の発展に寄与し、併せて女性としての教養の研鑽並びに、相互の親睦を図ることを目的としている。」とあります。



中、より良い会社経営が出来るかを会員皆さんと共に勉強をし、経営者のパートナーとしての力を發揮出来るよう、部会員皆様のご協力と親会、青年部会のご支援をいただき有意義な一年にしたいと思います。

また、11月の「税を知る週間」には、優良法人懇和会、女性部会との合同税務研修会を開催し、12月には初めての試みとして韓国への海外視察研修を実施いたしました。

参加された方は、海外での見聞を広げられ、美味しい韓国料理に感激し、格安で盛沢山の視察研修に大満足された様子でした。

さて、本年度は、会員拡大はもちろんのこと、税務研修会、11月開催の全国青年の集い「静岡大会」への参加、県連第10回会員研修会「福島大会」への参加などを事業計画としております。

さらに、青年部会を中心に、相双法人会主催の社会貢献活動「ちびっ子相撲大会」を実施することになりました。

8月3日(土) 10時30分より、

青年部会 平成14年度

事業計画について

青年部会長 立谷一郎

玉の井部屋の力士と大関栃東関をお迎えし、相馬港で開催致します。参加無料で、小学生対象に約200名のちびっ子の参加を予定しております。

当日は、参加ちびっ子はもちろん、ご家族の方にもふるまいちゃんとこ鍋をご用意して、お待ち致します。詳しくは、最終ページに開催概要を掲載しています。

当会青年部会は、次代を担う経営者の集まりとして、「個々の研鑽、企業の発展、地域社会への貢献」を柱とし、組織の拡大と会員の親睦を図ることを基本方針とし、今年度も事業活動を積極的に遂行して参ります。



第一回厚生委員会に出席させていただい



法人会福利厚生制度受託会社

原町営業所長 吉田 啓一

相双法人会会員の皆様、この4月1日付でご当地原町営業所に着任させていただきました。今後ともよろしくお願い申し上げます。

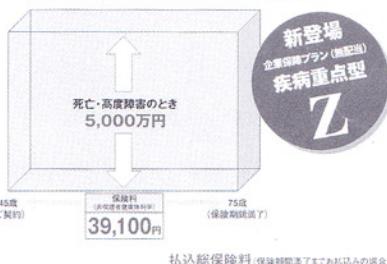
さて去る6月17日(月)に、本年第一回厚生委員会が原町市のラフィースで開催され、受託会社として弊社管理職・推進員計13名で出席させていただきました。猪狩廣安副委員長(富岡)の議事進行により、平成14年度「大型保障制度」の推進施策が下記のとおり決定されましたので、この紙面をお借りしてご披露いたします。

1. 福島県連すでに決定している「大型保障制度県連加入

新登場『疾病重点型Z』

保障のコストDOWNを お考えの経営者のみなさまへ

(契約引)無配当定期保険(無解約払戻金型) 保険期間75歳満了 死亡保険金額5,000万円
[契約年齢45歳 男性 固定月払(無解約払戻金型)]



- 解約払戻金や配当金が全くないぶん、毎回のお払込保険料が割安です。
- 更新による保険料の上昇がなく保険料は長期間一定です。
- 一定年齢までの大きな保障を望まれる経営者におすすめのプランです。

14,076,000円

(達成支部には、大同生命より1社3,000円進呈をご承認いただきました)。以上、実りある厚生委員会の決定事項をご案内いたしましたが、弊社も会員各位のご理解・ご協力をいただきながら制度推進して参る所存ですので、よろしくお願い申しあげます。

事務局を担当して何年になりますか?

2年目です。
Q..事務局を担当して何年になりますか?



事務局紹介

*原町支事務局の宍戸順子さんをご紹介いたします。

- (これからもよろしくお願い致します。)
- Q..支部のおすすめスポットはらまちフラワーランド馬事公苑の西にあり、四季折々の花が咲き、原町市内と太平洋が一望できます。特に初夏のラベンダー畑はお勧めです。

ちびっこ相撲in相馬大会のご案内

(社)相双法人会 社会貢献活動

大相撲玉ノ井部屋の力士の皆さんを迎えて、国技でもある相撲を通じ青少年の健全育成の為に開催いたします。

大関 栃東も来るよ!!



玉ノ井部屋の力士と いっしょに ちびっこ相撲大会

日時 平成14年8月3日(土)
10:30~14:00 受付開始 9:30~
会場 相馬港2号埠頭特設会場

- 参加対象 相双地区 小学1年生~6年生(男女問わず)
- 参加料金 無料
- 募集人員 200名
- 試合形式 学年別による勝ち抜きトーナメント方式
- 表彰 各学年 優勝・準優勝・三位(2名)
- 主催 (社)相双法人会

(お問合せは、TEL 0244-36-5754 FAX 0244-36-8944)

ふるまい ちゃんこ鍋

※参加者及び保護者の方へ
無料券を、当日受付にて
配布いたします。

当日のその他イベント予定

大関栃東トークショー 15:30~(無料)

がんばれ玉ノ井部屋サンセットパーティー 17:00~(有料)

バブルの絶頂期、土地神話
が燐然と輝いていた頃、企業
メセナ(芸術文化支援)が盛
んにもてはやされた時代があ
りましたが現在のような経済
状態の時代になると話題にの
ぼる事も少なくなりました。
確かに本体の財務体質の改善
を求められている企業が過半
数どころか8~9割と言われ
ている時代に、芸術や文化を
支援するなんて事について大き
きな逆風が吹いているのは間
違いない事です。
でもこんな時代だからこそ心
や体を癒してくれる芸術や文
化に目を向けるのは如何でし
ょう。それは、必ずしも経済
的支援だけが支援ではなく鑑
賞そのもので本物に触れ、そ
れによって理解を深めるとい
うのも大きな支援の一つでは
ないでしょうか。「芸術の秋」
という言葉もありますが、芸
術・文化は年中無休です。早
速、身近な芸術から楽しんで
みませんか

松永

編集後記